

電気通信大学 平成16年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 倫理学B | | |
| 英文授業科目名 | E t h i c s B | | |
| 開講年度 | 2004年度 | 開講年次 | 1, 2年次 |
| 開講学期 | 2, 4学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-人文・社会科学科目-人文・社会科学科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 横田 理博 | | |
| 居室 | 東1-715 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| キリスト教の基本的な立場を聖書に即して理解する。 プロテスタンティズムと近代資本主義との関係を軸に諸文化を比較研究したマックス・ウェーバーの宗教社会学について理解する。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 倫理学A |

| |
|----------------------------------|
| 【教科書等】 |
| 適宜プリントを作成し配布する。 参考書は講義中に紹介する。 |

| |
|---------------------------|
| 【授業内容とその進め方】 |
| 授業内容 キリスト教の概観と比較思想の諸理論 |

電気通信大学 平成16年度シラバス

進め方

プリントに即して講義する。

講義内容についての理解・感想を各自で表現することを課題として課す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法

講義中、数回の「中間試験」をおこない、その総計で成績を評価する。

評価基準

1. 講義内容を理解
2. それについて自分の考えをもつ
3. 自分の考えを適切に文章に表現できる

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

【その他】